

第4学年 音楽科学習指導案

令和元年6月20日(木)第6校時

第4学年2組25名

学級担任 小林 和子

指導者 金田 美奈子

- 1 題材名 「ひょうしのちがいを感じ取ろう」
- 2 題材の目標 拍子の違いを感じ取り、拍の流れによって歌ったり聴いたりする。

A (1) (2) ア・イ・ウ(ア) B (1) ア

[共通事項] (1) ア 拍 フレーズ イ 2/4 3/4 4/4

- 3 児童の実態と題材設定の理由

第4学年の児童は、第2学年から専科が担当している。拍子の学習は、第3学年で手遊びをしながら「十五夜さんのもちつき」(2拍子)、「陽気なかじや」(3拍子)を歌う学習をしている。この学習を通して、2拍子と3拍子の拍の流れを感じ取りながら歌うことを経験している。今回の題材では、一定時間ごとに刻まれる拍のまとまりで拍子が構成されていることに気付くことができるよう、まず体を動かす活動や指揮の動きをしながら2拍子、3拍子、4拍子を感じ取る学習をする。次に、4拍子と3拍子の音楽を歌ったり聴いたりしてそれぞれの拍子の特徴を感じ取り、拍子の違いについて自分の考えをまとめる。この題材を通して、拍子によるリズム感やそれぞれの拍の重さの違いを知り、これからの表現活動に生かしていくことができると考え、本題材を設定した。

- 4 教材

「エーデルワイス」(阪田寛夫作詞/ロジャーズ作曲/嘉手納洋子編曲)

ハ長調 3/4 拍子で、主な旋律が跳躍進行と順次進行で構成されている。また、途中で大きなリズムの変化がある旋律が入ることで曲想に変化をもたらしている楽曲である。前題材(「いろいろな歌の表げんを楽しもう」)で「サウンド オブ ミュージック」を鑑賞した際に聴いた楽曲である。

「ラバース コンチェルト」(片桐和子訳詞/デニー・ランデル編作曲)

ハ長調、4/4 拍子の二部形式。J. S. バッハが編纂した「アンナ・マグダレーナ・バッハの音楽帳」に収められた「メヌエット」が原曲となっている。

「メヌエット」(ペツォルト作曲)

メヌエットは3/4 拍子でゆったりとした拍の流れによる舞曲である。はじめはフランスの田舎の踊りであったが、ルイ14世が宮廷で取り上げるようになってから、上流社会で流行した。この「メヌエット」は、ヨハン・セバスチャン・バッハが編纂した「アンナ・マグダレーナ・バッハの音楽帳(クラビーア小曲集)」の中の1曲である。作曲者は現在の研究では、ペツォルトの作曲とされている。

5 題材の評価規準

	音楽への 関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
題材の評価規準	①いろいろな拍子の拍の流れによって演奏したり聴いたりする学習に関心をもち、進んで取り組もうとしている。	①3拍子の拍の流れを知覚・感受し、旋律の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもっている。	①拍の流れによって旋律のまとまりを感じながら演奏している。	①拍の流れを知覚・感受し、拍子の違いによる曲想の違いを感じ取って聴いている。 ②拍子の違いと曲想との関わり合いから感じ取ったことを言葉で表すなどを言葉で表すなどして、楽曲の特徴に気付いて聴いている。

6 題材の学習指導計画（全4時間）

時	○主な学習内容 ・主な学習活動	☆教師の支援 ◆評価【評価方法】
	<ねらい>いろいろな拍子の拍の流れを感じ取る。	
1	<p>○拍子の知覚・感受</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2拍子、3拍子、4拍子を体の動きで表す。 ・2拍子、3拍子、4拍子の指揮をする。 ・体を動かしながらいろいろな拍子の拍の流れを捉えて気付いたことを、学習カードに書く。 <p>○「エーデルワイス」の聴取</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拍の流れを感じながら「エーデルワイス」の範唱を聴く。 ・「エーデルワイス」を歌う。 <p>○主旋律の演奏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・階名で歌ったりリコーダーで演奏したりする。 <p>○振り返り</p>	<p>☆拍子を捉える学習を深めるために、体を動かす活動を取り入れる。</p> <p>☆拍子を捉えることができるようになってから、全身を使った動きから指揮の活動へと移行する。</p> <p>◆いろいろな拍子の拍の流れによって演奏したり聴いたりする学習に関心をもち、進んで取り組もうとしている。</p> <p>【関①－演奏表現・学習カード】</p> <p>☆拍の流れを感じながら聴くことができるよう、一人でできる3拍子の動きをしながら聴くよう指示をする。</p> <p>☆3拍子の拍の流れによって階名を歌うように指示をする。</p>

<ねらい> 拍の流れによって旋律のまとまりを感じながら演奏する。		
2	<p>○拍子の知覚・感受</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの拍子で名前リレーをする。 ・2拍子、3拍子、4拍子を体で表す。 <p>○「エーデルワイス」の演奏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3拍子の体の動きや指揮をしながら、「エーデルワイス」を歌う。 ・リコーダーで演奏する。 ・「エーデルワイス」をどのように演奏したかを、学習カードにまとめる。 <p>○振り返り</p>	<p>☆拍子を捉える学習を深めるために、体を動かす活動を取り入れる。</p> <p>☆3拍子の拍の流れと旋律の動き方との関わりを意識して歌うよう助言する。</p> <p>◆3拍子の拍の流れを知覚・感受し、旋律の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもっている。</p> <p>【創①－器楽 演奏表現 学習カード】</p>
<ねらい> 拍子の違いによる曲想の違いを感じ取って聴く。		
3 本 時	<p>○拍子の知覚・感受</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4拍子、3拍子で名前リレーをする。 ・「メヌエット」と「ラバーズ コンチェルト」を聴く。 <p>○4拍子の知覚・感受</p> <ul style="list-style-type: none"> ・範唱を聴いて4拍子を感じながら、「ラバーズ コンチェルト」を歌う。 ・拍子と曲想との関わりで気付いたことや感じたことを話し合う。 <p>○3拍子の知覚・感受</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体を動かしながら「メヌエット」を聴き、拍子を捉える。 ・友達と曲の特徴に合った動きを工夫しながら「メヌエット」を聴き、拍子と曲想との関わりで気付いたことや感じたことを話し合う。 	<p>☆名前リレーで、拍子の違いを感じることができる場を設定する。</p> <p>☆それぞれの曲の拍子を捉えることができているかどうかを確認する。</p> <p>☆個人で体を動かしながら拍子を捉える場を設定する。</p> <p>☆2人組で「メヌエット」に合った動きをしながら聴く場を設定する。</p> <p>☆児童の活動の状況に合わせて、体を動かしながら「ラバーズ コンチェルト」を歌う活動を設定する。</p>

	<p>○音楽の構造の理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指揮をしながら歌ったり聴いたりして拍子と曲想との関わりについて考える。 ・「ラバーズ コンチェルト」と「メヌエット」の拍子の違いによる曲想の違いについて、まとめる。 <p>○振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拍子の違いによる曲想の違いについて、気付いたことや感じたことを学習感想として書く。 	<p>☆拍子の違いを比較することができるようにするために、体を動かしたり指揮をしたりしながら旋律を口ずさむ活動を設定する。</p> <p>◆拍の流れを知覚・感受し、拍子の違いによる曲想の違いを感じ取って聴いている。</p> <p>【鑑①－鑑賞 発言 身体表現 学習カード】</p>
<p><ねらい>拍子の違いと曲想との関わりについて触れながら、紹介文を書く。</p>		
<p>4</p>	<p>○「エーデルワイス」の演奏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の指揮を見ながら「エーデルワイス」をリコーダーで演奏する。 ・自分の考えを友達に伝えてから、「エーデルワイス」の指揮をする。 <p>○「ラバーズ コンチェルト」の聴取</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ラバーズ コンチェルト」を歌う。 ・「ラバーズ コンチェルト」を体を動かしながら聴く。 <p>○「メヌエット」の聴取</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拍子の違いと曲想との関わりについて友達と考えを交流する。 <p>○拍子の理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3拍子と4拍子の違いと曲想との関わりについて触れながら、紹介文を書く。 <p>○振り返り</p>	<p>☆指揮をする際、どのように表現をしてほしいかを友達に伝えてから指揮をするようにする。</p> <p>◆拍の流れにのって旋律のまとまりを感じながら演奏している。</p> <p>【技①－器楽 演奏表現・学習カード】</p> <p>☆「メヌエット」との拍子の違いを確認しながら歌う場を設定する。</p> <p>☆拍子の違いについて第1時の学習を思い出しながら聴くよう助言する。</p> <p>◆拍子の違いと曲想との関わり合いから感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴に気付いて聴いている。</p> <p>【鑑②－鑑賞 学習カード】</p>

7 本時の学習(3 / 4 時間)

(1) ねらい 拍子の違いによる曲想の違いを感じ取って聴く。

(2) 学習の展開

○学習内容	☆教師の支援 ◆評価 (評価方法)
<p>○学習活動</p> <p>○拍子の知覚・感受</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4拍子、3拍子で名前リレーをする。 ・「メヌエット」と「ラバース コンチェルト」を聴く。 <p>○めあての確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ひょうしのちがいによる曲そのちがいを感じ取ってきこう。</div>	<p>☆名前リレーで、拍子の違いを感じることができる場を設定する。</p> <p>☆それぞれの曲の拍子を捉えることができるかどうかを確認する。</p>
<p>○4拍子の知覚・感受</p> <ul style="list-style-type: none"> ・範唱を聴いて4拍子を感じながら、「ラバース コンチェルト」を歌う。 ・拍子と曲想との関わりで気付いたことや感じたことを話し合う。 <p>○3拍子の知覚・感受</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体を動かしながら「メヌエット」を聴き、拍子を捉える。 ・友達と曲の特徴に合った動きを工夫しながら「メヌエット」を聴き、拍子と曲想との関わりで気付いたことや感じたことを話し合う。 <p>○音楽の構造の理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指揮をしながら歌ったり聴いたりして拍子と曲想との関わりについて考える。 ・「ラバース コンチェルト」と「メヌエット」の拍子の違いによる曲想の違いについて、まとめる。 <p>○振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拍子の違いによる曲想の違いについて、気付いたことや感じたことを学習感想として書く。 	<p>☆個人で体を動かしながら拍子を捉える場を設定する。</p> <p>☆2人組で「メヌエット」に合った動きをしながら聴く場を設定する。</p> <p>☆児童の活動の状況に合わせて、体を動かしながら「ラバース コンチェルト」を歌う活動を設定する。</p> <p>☆拍子の違いを比較することができるようにするために、体を動かしたり指揮をしたりしながら旋律を口ずさむ活動を設定する。</p> <p>◆拍の流れを知覚・感受し、拍子の違いによる曲想の違いを感じ取って聴いている。</p> <p>【鑑①－鑑賞 発言 身体表現 学習カード】</p>